

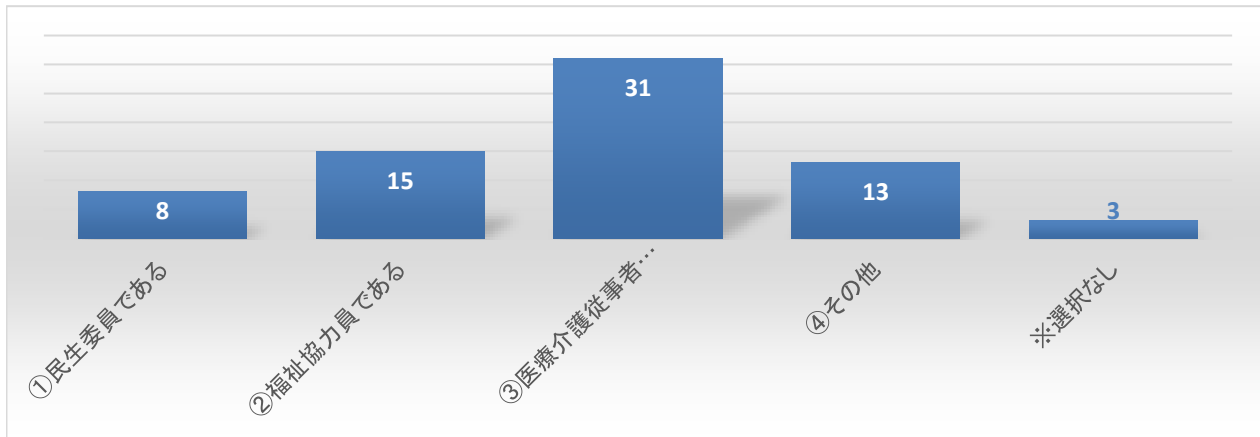
第1回 上津役会議 アンケート集計

総数：70枚（出席：88名）

1. あなたについてお尋ねします。該当する項目を○で囲んでください。

①民生委員である ②福祉協力員である ③医療介護従事者である ④その他 ※選択なし
職種【 】 【 】

（ 8名 ） （ 15名 ） （ 31名 ） （ 13名 ） （ 3名 ）



相談員	(3名)	市民センター	(1名)
ケアマネ	(5名)	南シニア連	(1名)
医師	(3名)	健康友の会西八幡支部	(1名)
PT	(1名)	自治区会長	(1名)
看護師	(4名)	区役所	(1名)
鍼灸師	(1名)	行政(作業部)	(1名)
デイ職員	(1名)	小学校	(1名)
介護従事者	(3名)	小学校PTA	(1名)
行政	(1名)	保育士	(1名)
歯科医師	(2名)	記載なし	(4名)
施設管理者	(1名)		
記載なし	(6名)		

2. 久保田さんの社協の見守り活動・サロン活動などについての説明について、該当する項目を○で囲んでください。
よく理解できた ・ 理解できた ・ どちらともいえない ・ あまり理解できなかった ・ 理解できなかった
その理由)

よく理解できた (30名)

その理由)

- ・ すごく分かりやすい!!
- ・ スライド説明もあり分かりやすかった。
- ・ 社協の活動内容がよく理解できた。
- ・ なかなか活動内容を知る機会がなかったので
- ・ 活動内容を細かく説明してくださったから
- ・ 活動内容が皆さんに伝えられたと思う。
- ・ 地域の活動の内容・実施していることが分かった。
- ・ 自分が活動しているから
- ・ 現在活動している内容だから

理解できた (36名)

その理由)

- ・ 分かり易かった。
- ・ 社協の活動についてはほとんど知らなかったなので、詳しく聞くことが出来て良かったです。
- ・ 市民センターの活動中、通常の活動を見聞きしている。
- ・ 上津役地区の社協の活動がよく理解できた。
- ・ いつも参加しているので
- ・ 日頃からの社協、民生児童委員、福祉協力員の動きがよく解った。

- ・ 社協の方々の活動が理解できた。
- ・ 丁寧な説明であった。
- ・ 話慣れてて良かった。

どちらかともいえない (0名)

あまり理解できなかった (1名)

その理由)

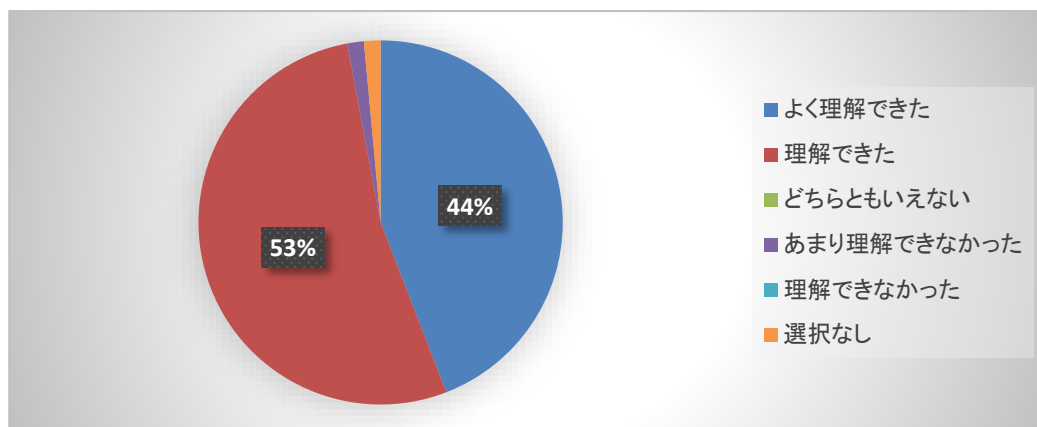
- ・ 経験なし。

理解できなかった (0名)

選択なし (1名)

その理由)

- ・ 社協でよく会合がある。



3.川本先生の『医療から見る要支援の方とは？』の説明について、該当する項目を○で囲んでください。

よく理解できた ・ 理解できた ・ どちらともいえない ・ あまり理解できなかった ・ 理解できなかった
その理由)

よく理解できた (32名)

その理由)

- ・ 施設（特養、老健、有料老人ホームetc.）での支援が難しいため、民生委員、福祉協力員etc.地域に根差したインフォーマルな支援が必要。
- ・ 介護保険の活用方法を分かりやすく説明してくださったので
- ・ 具体的な例を通して、説明してくれたから
- ・ 理解できるが、実践に結び付きにくい。
- ・ 医療だけでは支援出来ないことが分かった。
- ・ 道筋。

理解できた (33名)

その理由)

- ・ 分かり易かった。
- ・ 介護の流れについてはわかっていたが、再確認できました。
- ・ 簡潔で分かりやすかった。
- ・ マニュアル通りの説明を聞いた事
- ・ 分かりやすかった。
- ・ 介護保険の申請方法が多少なりとも分かった事
- ・ 分かりやすかった。
- ・ 転倒、脱水等で病院にかかっても、生活が分からない事が多い。（医師）
- ・ ポイントがしぼってあった。
- ・ 介護保険の基本部分が分かりやすかった。
- ・ お話が上手だった。

どちらかともいえない (2名)

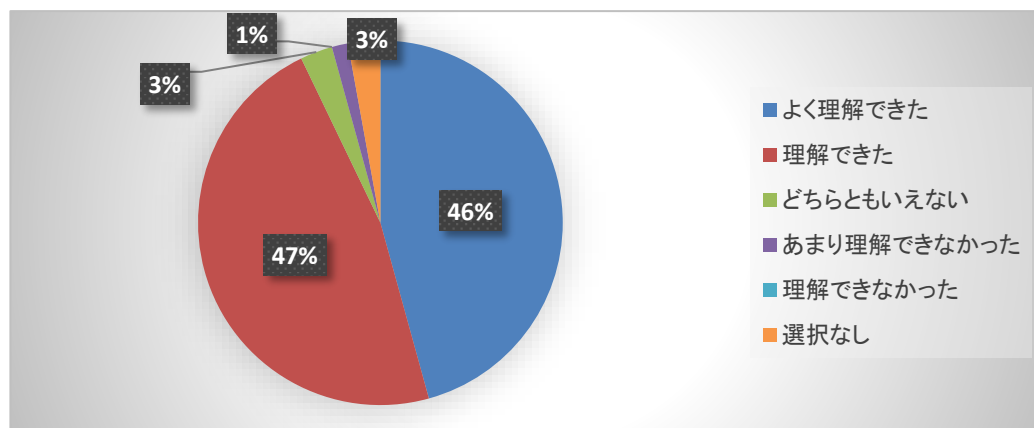
あまり理解できなかった (1名)

その理由)

- ・経験なし。

理解できなかった (0名)

選択なし (2名)



4.『地域で要支援1・2の方々を見守るには』『ながら見守りやってみよう』のグループごとの話し合いについて、該当する項目を○で囲んでください。

満足 ・ やや満足 ・ どちらともいえない ・ やや不満 ・ 不満

その理由)

満足 (25名)

その理由)

- ・いろいろな意見が聞けて良かった。
- ・色々な情報を交換することが出来て参考になる事も多かった。
- ・要支援1・2とはどんなものか？自分達にとって今は当たり前のこと、携わってなければ分からないことを改めて考えられた。
- ・地域の方の活動を知ることができた。顔の見える関係ができた。
- ・地域の立場、専門職の立場、それぞれの意見を聞くことができ良かった。地域での活動について新たな発見ができた。
- ・子どもたちにできることがあれば知りたいと思っています。
- ・いろんな立場の方の意見が参考になった。
- ・民生委員さんの体験も聞けて参考になりました。
- ・色々なケース事例があり、とても勉強になりました。
- ・地域の現場の一端が理解できた。
- ・活発な意見が出た。
- ・地域の色々な話を聞くことができた。
- ・討議時間が短い。
- ・意見が止まらないように出た。

やや満足 (28名)

その理由)

- ・色々な立場の方の意見が聞けて良かった。
- ・時間が少し足りなかった。
- ・時間が短かった。
- ・思っている事が話すことができた。(意見も聞くことができた。)
- ・福祉協力員の方の意見が貴重な意見。
- ・時間がやや少ない。話す人が偏る。
- ・色々な意見が聞けたこと。
- ・まずは、要支援1・2の方の全体像を考える事が必要。
- ・もう少し時が欲しかった。
- ・もっと時間が欲しかった。色々な話が聞けて良かった。
- ・時間が足りない。

- ・地域の方々の本音が聞けて良かった。
- ・中々、これで正解といった事がない。
- ・時間が足りませんでした。

どちらともいえない (9名)

その理由)

- ・短時間では意見が出にくい。中途半端です。
- ・南シニア連も、友愛訪問で一人暮らしの老人への声かけ訪問等ありますが、迷惑がられている様な状態です。(知人は別ですが)

やや不満 (2名)

その理由)

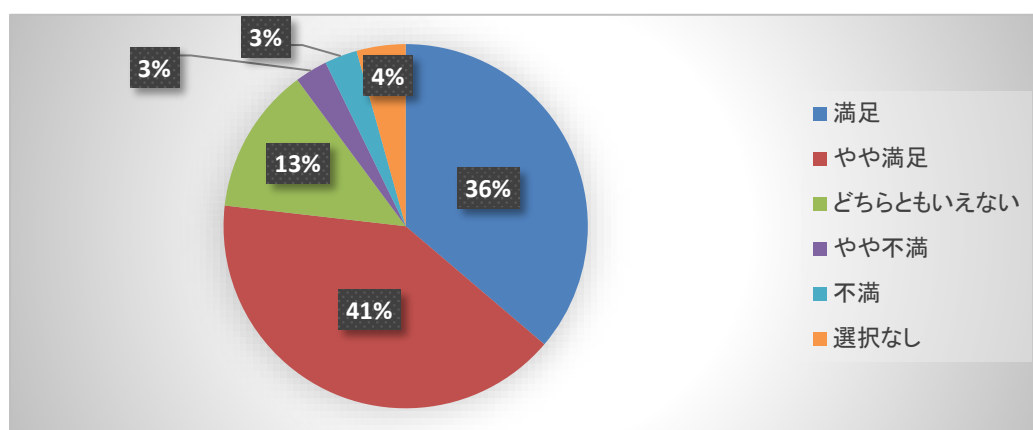
- ・話し合いの時間をもっと増やしてほしい。
- ・もう少し時間があれば良かった。

不満 (2名)

その理由)

- ・その前の個人情報の取り扱い。

選択なし (3名)



5. 今日のような、上津役会議（上津役校区作戦会議と医療介護専門職のコラボ会議）を開催することについて、賛成ですか？反対ですか？該当する項目を○で囲んでください。

賛成である（有効であると思う） ・ 反対である（有効だと思えない）

その理由)

賛成である（有効であると思う） (63名)

その理由)

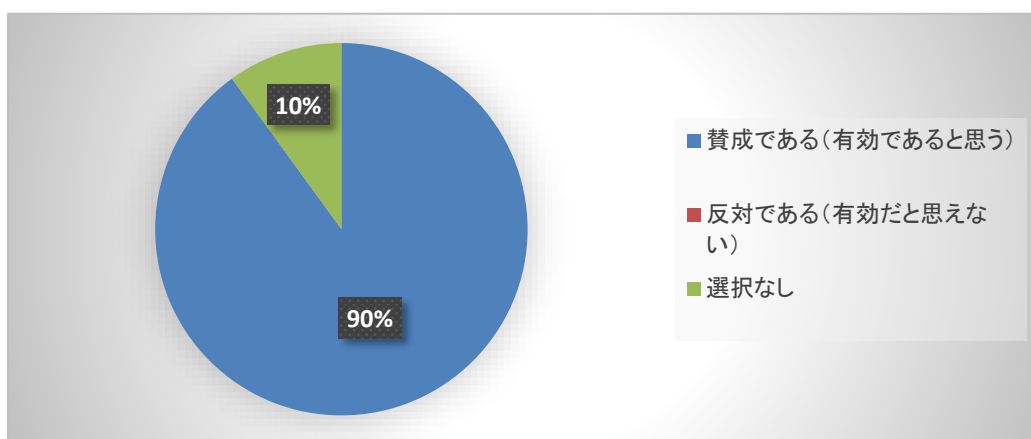
- ・勉強になった。
- ・より顔の見える関係になった方が良い。
- ・なかなか地域の方の意見を聞く機会がないので
- ・いろんな話し合い、とても勉強になりました。また話し合いがあれば嬉しいです。
- ・各方面からの意見が聞くことができ、良かったと思う。
- ・様々な方がいろいろな形で、一人暮らしの方に関わっていると改めて感じました。
- ・地域の問題について認識できるため
- ・いろいろな方と知り合えることが出来て良かった。
- ・地域が話し合う良い時間でした。
- ・地域の方と顔を合わせ話が出来て良かったです。
- ・情報共用と地域の資源の発見が出来る。
- ・いろいろな立場の意見が聞けるので
- ・もう少し深く、話し合いたかったので、定期的に行って頂きたい。
- ・他地区の事例等。
- ・自分達の知らない事、分からない事を話し合いの中で解決の糸口が見つかる事がある。
- ・大きな単位すぎて、自治会レベルの話し合いを持ち寄るような形でも良いのではないかと。
- ・情報収集として良い。
- ・自分の役割が分かってくる。

- ・地域の方は専門職の言葉を待っている。
- ・参加者があまりにも多い。人数を絞ったら。
- ・現場の人達として直接話が聞きたい。
- ・顔が見える。
- ・定期的に関いて欲しい。事例を報告しあう事で勉強になる。
- ・私は80才を越えました。皆様へ期待しています。
- ・もっとお互いの理解を深めるべき。
- ・地域での見守り活動が大切だから
- ・日々の状況変化に対応出来ると思う。
- ・地域交流が必要であるため
- ・在宅支援に民生委員さん方の協力が不可欠だと思う。
- ・ただし、もう少し人を絞る内容を考えないと、いろんな意見、主張の垂れ流しになってしまう
- ・次につながるか良く分からない。
- ・知らない事が発見できる。

- ・色々な人の意見が聞ける。

反対である（有効だと思えない）（ 0名 ）

選択なし（ 7名 ）



6. 次回の上津役会議で取り上げて欲しいテーマがなどがあれば、お書きください。

- ・老人会に加入したい方、自治会に加入したい方、どうしたら良いか
- ・討議するテーマを課題毎に絞った方が良いと思う
- ・プライバシーとして何処まで踏み込んで良いか？
- ・「つどいの家」等がない町内でのサロンの会合場所確保について
- ・地域とケアマネの協力体制→情報共有は可能か？
- ・情報の集約をする機関を作って活動して欲しい。
- ・大災害が発生しているが、お互いが協力してどの様に対処していくのか、組織的に考える必要があるのでは
- ・実際の事例を通して話し合いをしたい。
- ・今日の問題に対しての解決策
- ・協力員の方と気軽に連絡が取れるような体制作り
- ・施設と地域の関わり方
- ・本日の話をもう少し進めて。グループ討議の時間短いので、消化不良気味。
- ・特にありません。
- ・援助を拒否する人への対応
- ・困っていることを教えて欲しい。
- ・同じテーマをまたして欲しい。
- ・閉じこもりの人や認知症の方をいかにサロンへ参加していただくか
- ・地域が必要としているものは？
- ・ひきこもり、8050
- ・一人暮らしの認知症の方の見守りについて
- ・市、施設の方、学校の先生、多い

7. 今日のような会議の開催は、年に何回あればいいと思いますか？

該当する項目を○で囲んでください。

年に1～2回 • 年に3回くらい • 定期的に（回数が多くてもよい） • あまり必要ない

年に1～2回 (18名)

年に2～3回 (24名)

定期的に（回数が多くてもよい） (16名)

あまり必要ない (0名)

選択なし (12名)

